

前治療を有する子宮体癌患者に対する Nivolumab 単独、あるいは分子標的治療薬との併用療法の効果、副作用の検討

1. 研究の対象

2009年～2018年に菊池がんクリニックで前治療を有する子宮体癌患者に対して Nivolumab 単独、あるいは分子標的治療薬との併用療法を受けた患者さんが対象となります。

2. 研究目的・方法

子宮体癌に対する化学療法としては従来よりアドリアマイシン、シスプラチンの併用療法などが行われてきましたが、再発症例に対する効果は十分とはいえません。近年、免疫チェックポイント阻害剤の Nivolumab は種々の癌種でも効果を認めています。また、再発子宮体癌に対する効果はいまだわかっていません。また、Nivolumab と分子標的治療薬との併用療法についても十分には解明させていません。今回、当院での治療経験を後方視的に解析し、効果・副作用を検討することを目的としました。また、その治療の奏効、あるいは予後等と関連する分子標的マーカーがあるか否かも解析します。

研究によって対する有効な治療の組み合わせや、バイオマーカーが同定できれば、今後の診療成績の向上の一助になり得ると考えられます。

研究に協力いただいた方への直接的な利益はありませんが、本研究によって対する有効な治療法や、マーカーが同定できれば、今後の診療成績の向上の一助になり得ると考えられます。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

診療録（カルテ）から血液検査データや臨床情報を抽出します。また病気の発症日（診断日）から死亡・再発・増悪までの期間、治療内容、抗癌剤治療の有無とその効果、癌のひろがり（進行期）、その他日常診療で得られた年齢や身長・体重などの臨床データ等を採用し解析する予定です。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象とせず、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

大木記念女性のための菊池がんクリニック 院長 菊池義公

住所 〒359-1133 埼玉県所沢市荒幡1 1 1-1

電話 04-2928-7311

研究責任者：

大木記念女性のための菊池がんクリニック 院長 菊池義公

住所 〒359-1133 埼玉県所沢市荒幡1 1 1-1

電話 04-2928-7311